



医療用テープと 基本的スキンケア

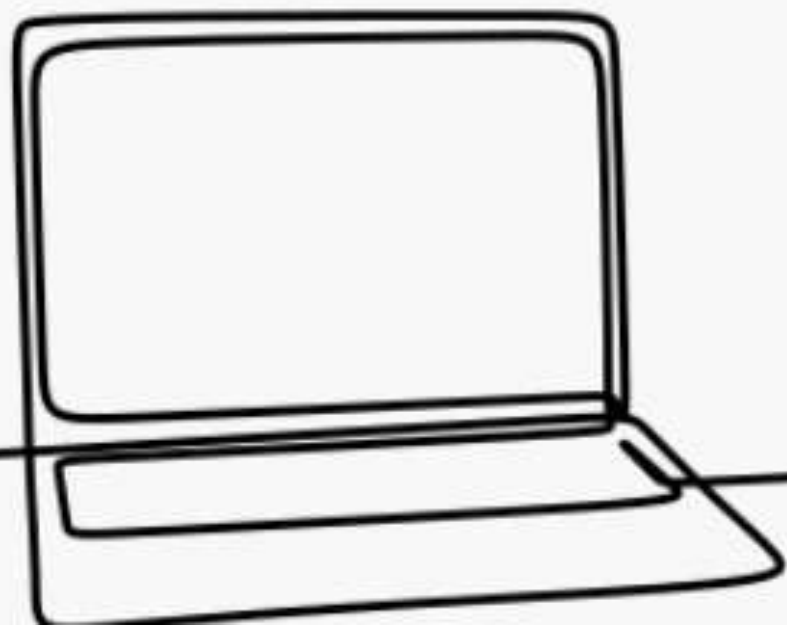
メディバンクス株式会社
編集部・学術担当
皮膚・排泄ケア認定看護師
村松 恵

- 医療現場では毎日使うケア物品
- 数多くある医療用テープ、正しく使えていますか？
- テープの選択方法って？
- テープに関するスキントラブルの原因って何？
- どうやってテープかぶれを防いだらいいの？



本日の内容

- 粘着テープの構造
- 粘着剤の種類と特徴
- テープの支持体に応じた使い分け
- テープの正しい固定方法
- テープの正しい剥離方法
- 活用できるスキンケア用品
- テープトラブルの原因と対応





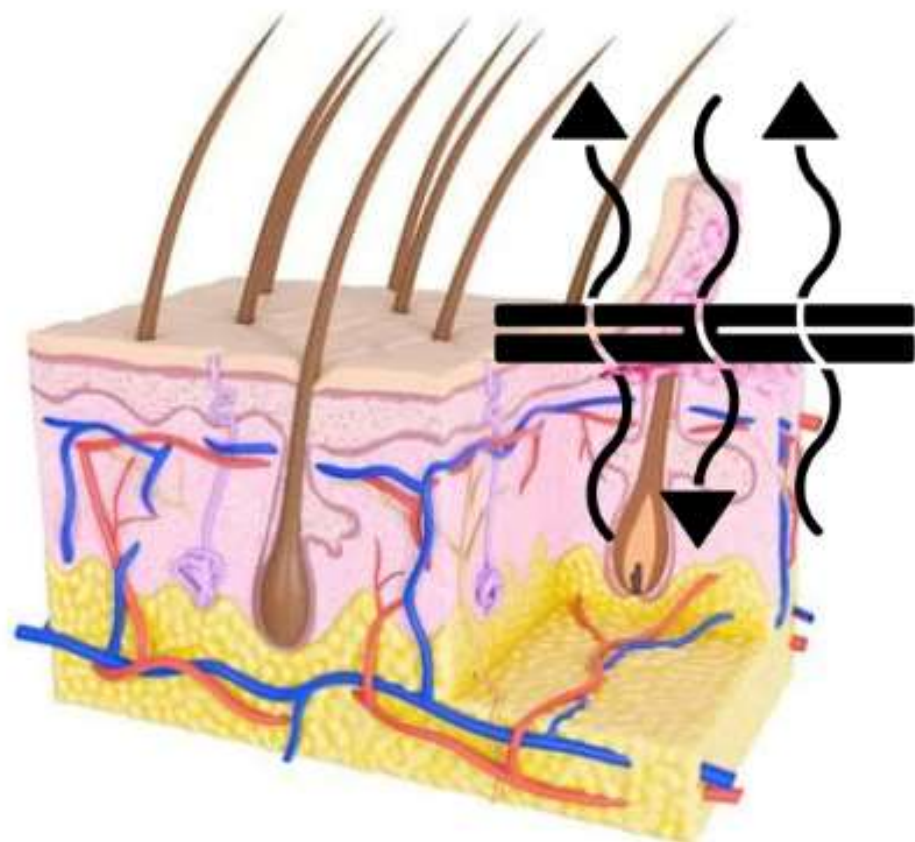
文房具用テープ

モノに貼るテープ

医療用テープ

ヒトに貼るテープ

皮膚にテープを貼るということは

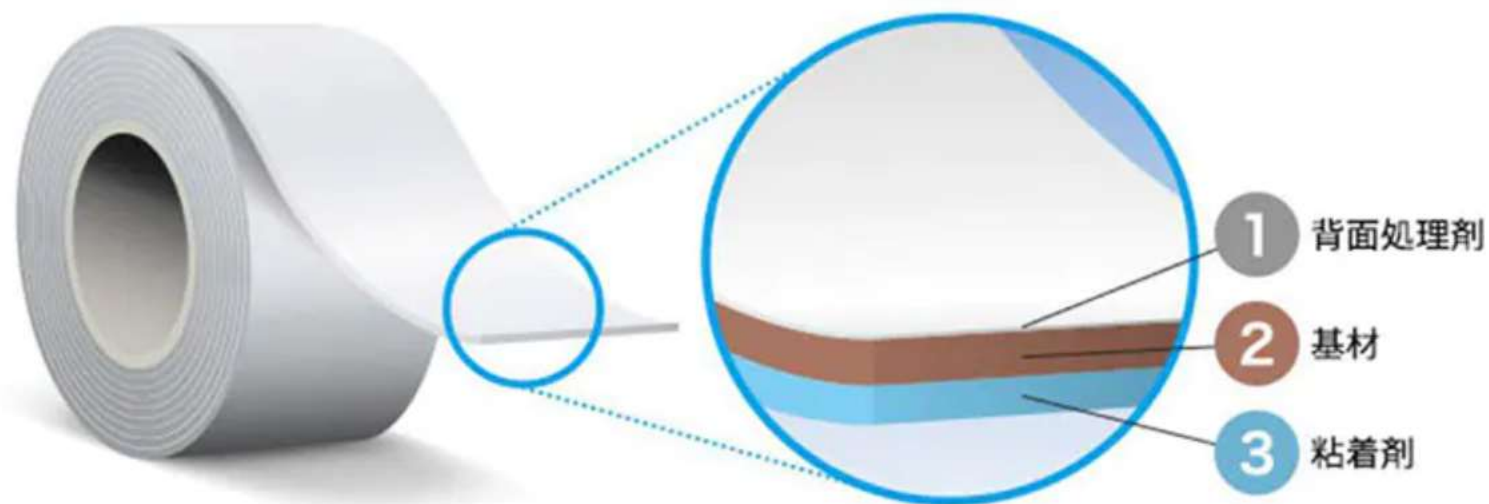


- ・発汗、不感蒸泄、皮脂に配慮が必要

- ・透湿性の高い
基材、粘着剤が大切

サージカルテープの特性

●サージカルテープの基本構造



1 背面処理剤

巻いたテープがスムーズに巻き出せるようにします。

2 基材

伸縮性、やわらかさ、通気性、扱いやすさなどに影響する部分。

3 粘着剤

直接皮膚に触れる部分。(粘着力や通気性などがテープの種類によって異なります。)

医療用テープの構成

粘着剤

皮膚に直接触れる部分

粘着力

透過性

アレルギー

に影響

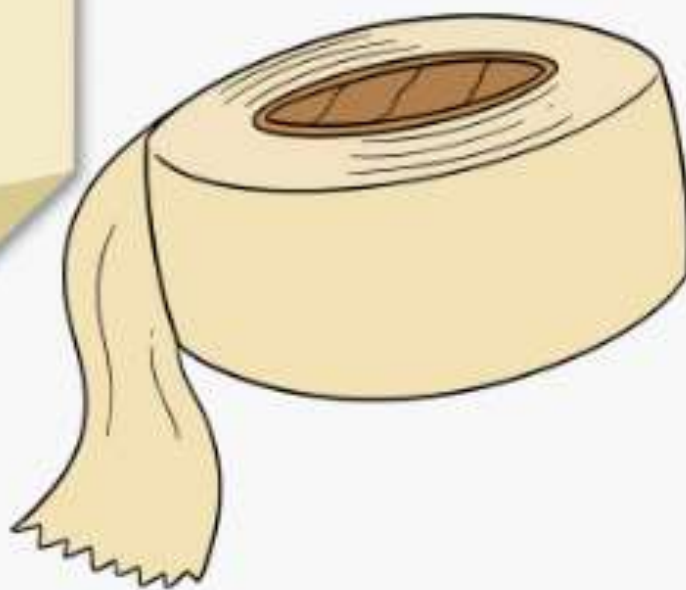
基材

やわらかさ

伸びやすさ

使いやすさ

に影響



医療用テープの基材の種類



紙



布



不織布



ポリウレタンフィルム



プラスチック

粘着剤の種類

種類	エラストマー	特徴		用途
		長所	短所	
ゴム系	天然ゴム SBR ブロックSIS	<ul style="list-style-type: none"> ・価格が安い ・被着体の選択性が小さい ・粘着力の上昇性が小さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱、耐候性に劣る 	包装用、マスキングテープ、両面、電気用テープ、粘着ラベル 等
アクリル系	アクリル酸エステル共重合体	<ul style="list-style-type: none"> ・それ自体で粘着性がある ・変性が自由 ・ゴム系に比べ耐熱、耐候性に優れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・被着体の選択性がある ・耐寒性不良 ・臭気、刺激性あり 	包装用、両面、電気用、粘着ラベル、建築用、車両用等
シリコーン系	シリコーンゴム	<ul style="list-style-type: none"> ・適用温度範囲が広い ・耐熱、耐寒性に優れる ・耐薬品性、耐候性に優れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格が高い 	電気用テープ、医療用
ウレタン系	ウレタン ウレタンウレア	<ul style="list-style-type: none"> ・微粘着性能が出しやすい ・再剥離性良好 ・低臭気、低皮膚刺激性 ・高透湿性 	<ul style="list-style-type: none"> ・被着体の選択性がある ・アクリル系と比較して価格が高い 	医療用

粘着剤の種類と粘着力

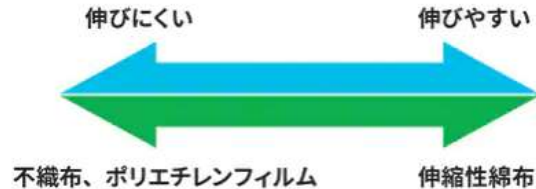


どのようにテープを選んだらいいの？



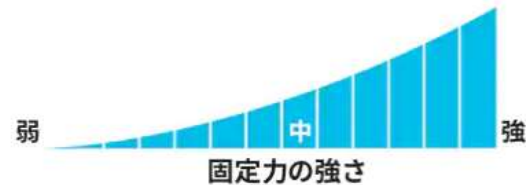
1. 皮膚の状態（剥離時のやさしさ）

皮膚を脆弱化に招く疾病の罹患などの全身状態及び皮膚状態を確認しましょう。



2. 貼付時間（皮膚へのなじみやすさ）

医療用テープの基材には、短期間から長期間の貼付に適したものがああります。皮膚の良く動く可能性のある部位には伸縮性綿布、一方であまり動かない部位には不織布やポリエチレンフィルム等の使用を検討しましょう。



3. 使用用途（固定力の強さ）

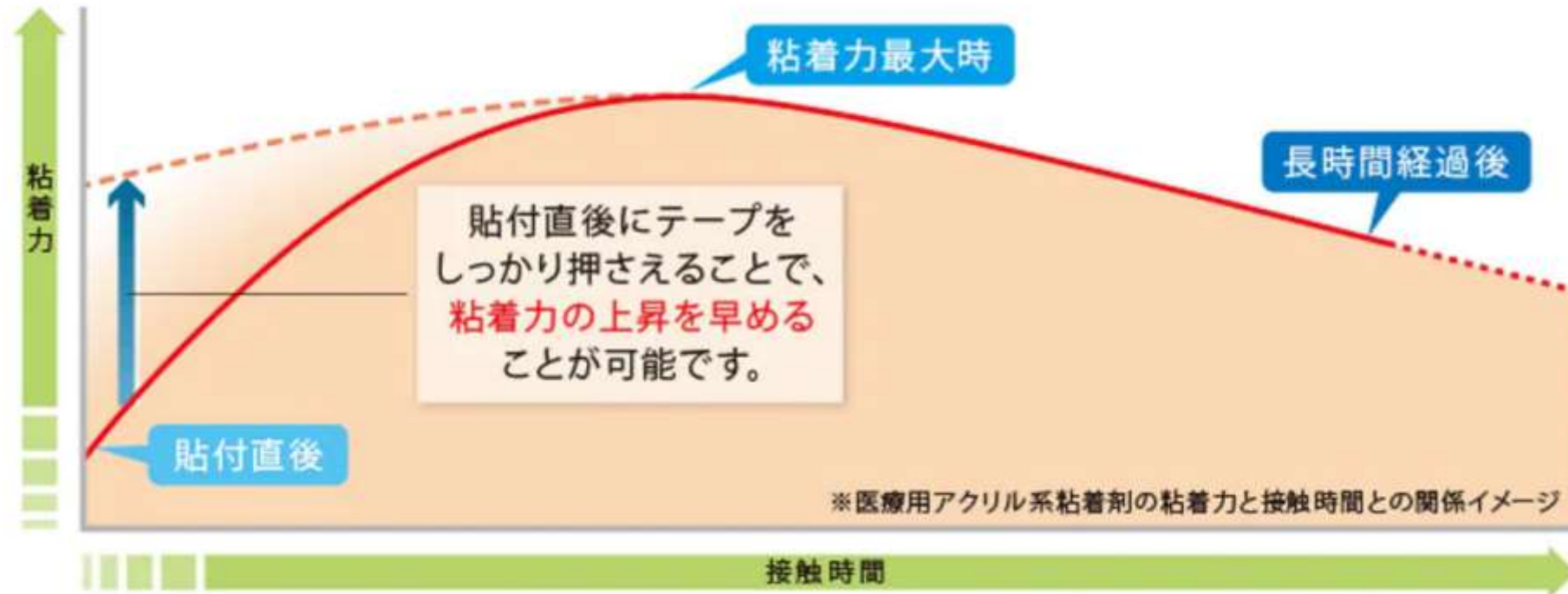
使用用途（ガーゼ等のドレッシング材の固定からチューブやドレーン等の固定）をアセスメントし、使用用途に応じて必要な固定力の強さを検討しましょう。



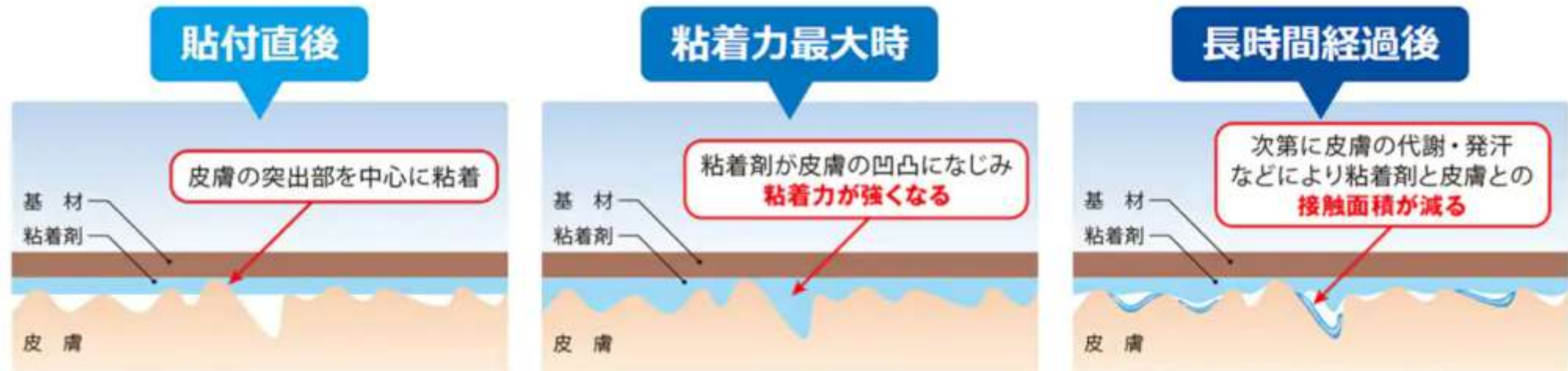
4. 貼付環境（外部からの水分への強さ）

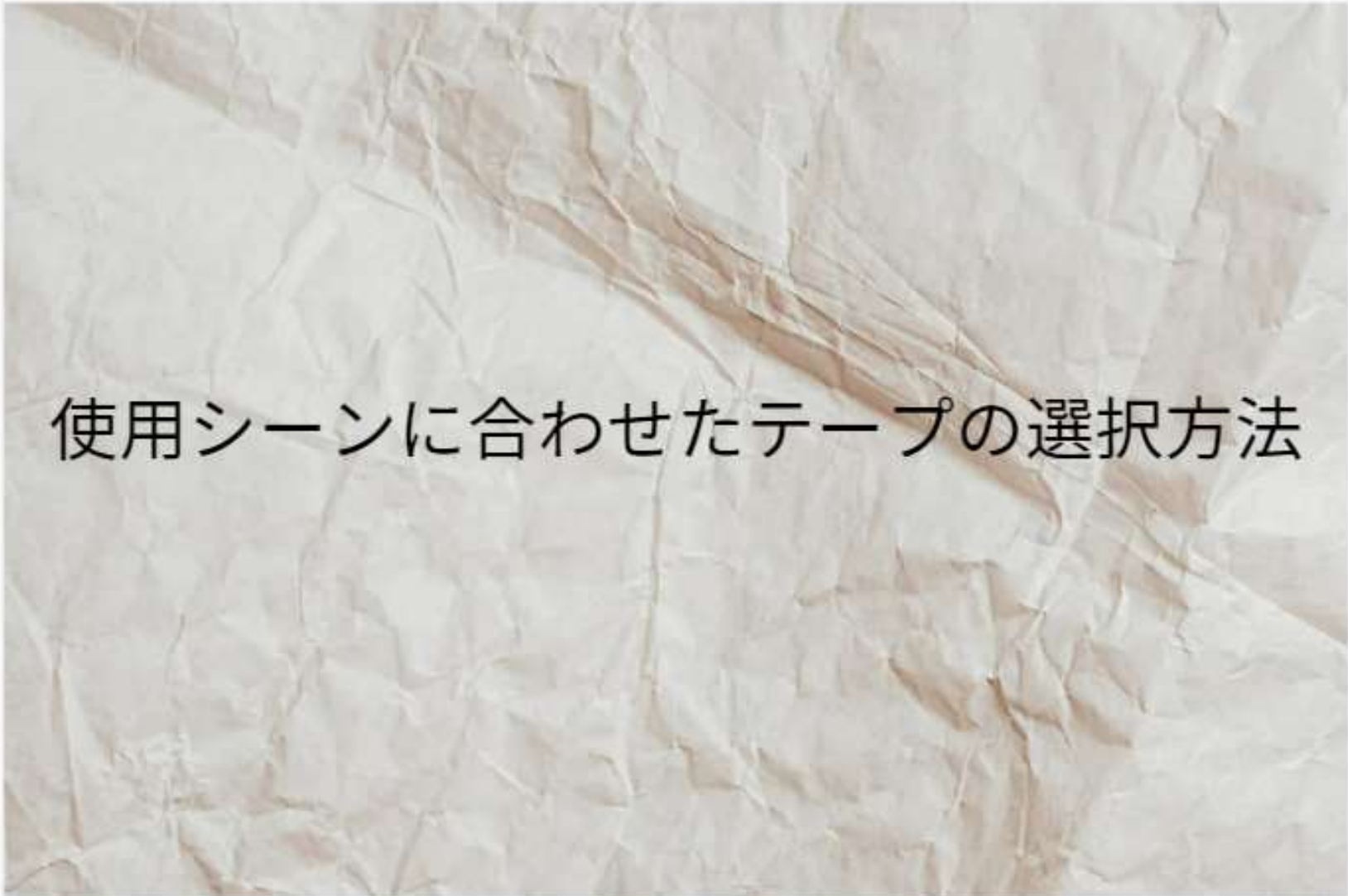
貼付する部位が水、浸出液、体液等の液体に汚染される可能性があるか考慮しましょう。製品によっては、このような過酷な環境を考慮して設計されています。

粘着剤と時間の関係



粘着剤がどのように肌に馴染むのか





使用シーンに合わせたテープの選択方法



入浴時・シャワーする時

- ・ 防水性のある
ポリウレタンフィルム基材
- ・ 防水性のあるプラスチック基材



肌が脆弱・肌が荒れている場合

- ・角質剥離が少ない、シリコン系粘着基材
- ・ゲルタイプで肌に優しいアクリル系粘着基材
- ・高伸縮で肌に追従するポリウレタンフィルム基材

WE MAKE
IT **EASY!**



手間を少なくしたい

- ・そのまますぐに使える専用形状のカットタイプ
- ・手できる紙基材／不織布基材



コストを安く抑えたいとき

- ・ 安価な紙基材
- ・ お得なロールタイプ

医療用テープの種類と特徴



	汎用	伸縮	強粘着
プレミアム			
アドバンス			
スタンダード			

肌にやさしい
低刺激タイプ



3M™ やさしくはがせる
シリコンテープ

19.0mm幅 × 5.0m



もっと
肌に
やさしく

用途が広い
不織布タイプ



3M™ マイクロポア™
サージカルテープ

12.5mm幅 × 9.1m

25.0mm幅 × 9.1m



汎用
タイプ

使いやすい
プラスチックタイプ



3M™ トランスポア™
サージカルテープ

12.5mm幅 × 9.1m

25.0mm幅 × 9.1m



簡単に
キレイに
切れる

目立たない
不織布タイプ



3M™ マイクロポア™
スキントーンサージカルテープ

12.5mm幅 × 9.1m

25.0mm幅 × 9.1m



顔など
の目立つ
場所に

さまざまな用途にあった
サージカルテープを
お選びいただけます。

しっかり固定
伸縮タイプ(ライナー紙付き)



3M™ マルチポア™
高通気性撥水テープEX

25.0mm幅 × 2.0m



関節
などの動く
場所に



3M™ マイクロポア™ S やさしくはがせる シリコンテープ



簡単に手で切れる

はさみが要らないので、簡単・安心にケアできます。



外からの水を通さず、
皮膚からの水蒸気を透過

ストーマ装具周囲などシャワーの水から保護したいときに便利です。

*表面の不織布についた水は上からタオルなどで軽くふきとることですぐに乾きます。

*テープを上から押さえ隙間ができていないか確認してください。



清潔に保てる

エッジキャップがついているのでテープが汚れにくいです。



エッジキャップ

汎用性

様々な用途でお試し頂けます

新シリコーン系粘着剤で固定力が向上したことにより、しっかり固定したい用途にもお使い頂けるようになりました。



ガーゼ固定などに



ストーマ装具周囲の補助固定に
*面板の下にテープを貼付しないでください。



脆弱な皮膚に



顔まわりなどの繊細な場所に



チューブ固定の補助に



透析回路の固定に



特にこんな部署で
ご使用頂いています

- 化学療法室
- 皮膚科
- 産婦人科
- 形成外科
- 小児科
- 透析室

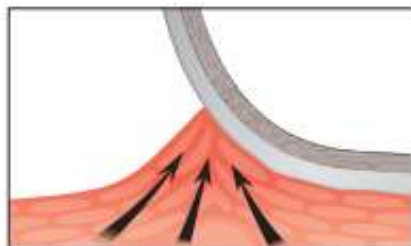


肌へのやさしさはそのままに

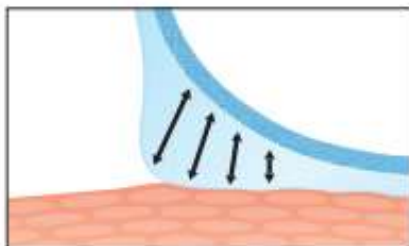


剥がす時に痛みが少ない

やわらかい“シリコン粘着剤”は皮膚や体毛を引っ張りにくく、やさしく剥がせるので、患者様の痛みを軽減できます。



弊社アクリル系サージカルテープ

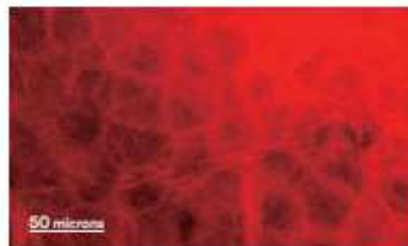


3M™ マイクロポア™ S
やさしくはがせる シリコンテープ

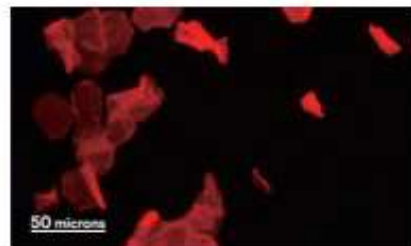


貼り直しが可能

弊社従来品に比べ、角質剥離が少ないため、テープの貼り直しが可能になります。



弊社アクリル系サージカルテープ

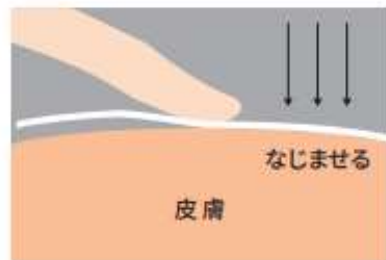


3M™ マイクロポア™ S
やさしくはがせる シリコンテープ

はがしたテープに付着した角質剥離量の比較
赤く見えるのが角質です。

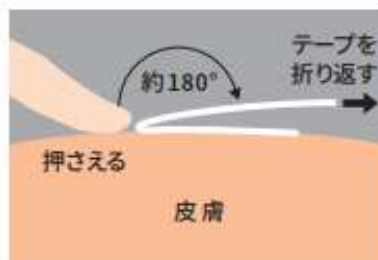


しっかり貼るための基本テクニック



皮膚やチューブに指の腹で優しく
圧着し、なじませるように貼ることで
より安定した粘着力が得られます。

剥離刺激を減らすための基本テクニック



本品をはがす場合は、皮膚の負担
を軽くするため、テープを約180度
に折り返し、皮膚が持ち上がらない
ように手で押さえながら、体毛の
方向に逆らわずゆっくりとはがして
ください。

医療用テープの種類と特徴



サージカルテープ・伸縮粘着包帯 機能別対比表

冊子では、ご説明できないテープ種をこのように作成するサポートをさせていただいております。お好みのテープ種を閲覧し、使用用途に適したテープを選択することで、テープによる皮膚損傷の予防につながります。また、適切なテープ種の見つけ、剥がし方の難易度も掲載しております。ご利用の際は、お好みの白化ページよりご確認いただけますと幸いです。

画像をクリックすると画像ページに移動します



汎用的に使えるテープ

<p>【サージカルテープ-21N】 各3,800円 No.12 (24巻入) No.25 (12巻入)</p>	<p>【サージカルテープ-ハダ】 各3,800円 No.12 (24巻入) No.25 (12巻入)</p>	<p>【キープポア-A】 各4,000円 No.12 (24巻入) No.25 (12巻入)</p>	<p>【紙バン】 No.9-10 630円 (10巻入)</p>	<p>【キープ シルク】 No.12 5,750円 (24巻入)</p>
<p>【ホワイトテープ】 W129 300円 W259 450円</p>	<p>【ホワイトテープ ページュ】 WB129 300円 WB259 450円</p>	<p>【キープポア ページュ】 KP158 300円 KP258 450円</p>	<p>【ネオバン】 N1010 180円</p>	<p>【シルクテープ】 S125 300円</p>
<p>【基材】バルブ・ポリエステル不織布 【特長】汎用性が高い</p>	<p>【基材】バルブ・ポリエステル不織布 【特長】汎用性が高い 目立ちにくい</p>	<p>【基材】ポリエチレンフィルム 【特長】手で簡単に切れる 透明なので目立たない</p>	<p>【基材】和紙 【特長】手切れ性が高く、使いやすい</p>	<p>【基材】アセート織布 【特長】波状カットで手切れ性がよい 固定性が高い</p>

テープでかぶれやすい方には…



どんなテープでも皮膚がかぶれてしまう方には自着性の伸縮包帯をお勧めします。皮膚や体毛にくっつかず包帯同士がかくつかうのでかゆみやかぶれの軽減につながります。



皮膚にやさしいテープ







<p>【スキナゲート】 各4,200円 SG12 (24巻入) SG25 (12巻入)</p>	<p>【スキナゲート-メッシュ】 各3,750円 SGM12 (24巻入) SGM25 (12巻入)</p>	<p>【スキナゲート-スパット】 各3,750円 SGS12 (24巻入) SGS25 (12巻入)</p>
<p>【スキナゲート】 SG127 300円 SG257 450円</p>	<p>【スキナゲート-メッシュ】 SGM127 300円 SGM257 450円</p>	<p>【スキナゲート-スパット】 SGS129 350円 SGS259 480円</p>
<p>【基材】ポリオレフィン系フィルム 【特長】皮膚にやさしい 柔軟性がある</p>	<p>【基材】ポリプロピレン不織布 【特長】皮膚にやさしい 固定性が高い</p>	<p>【基材】バルブ・ポリエステル不織布 【特長】皮膚にやさしい 手できれいに切れる</p>

<p>【セラオビ】 No.255 3,450円(20巻入) No.505 2,880円(10巻入) No.755 3,680円(10巻入)</p>	<p>【バトルウィン-くっつくバンテージ】 KB38 6,530円(12巻入) KB50 7,560円(12巻入) KB75 10,080円(12巻入)</p>	<p>【バトルウィン-アンダーラップテープ】 U70 4,800円(12巻入)</p>
<p>【つきつき-ホータイ】 THS 380円(2巻入) THM 380円(1巻入) THL 380円(1巻入)</p>	<p>【バトルウィン-くっつくバンテージ】 KB25F 440円 KB38F 570円 KB50F 660円 KB75F 880円</p>	<p>【バトルウィン-アンダーラップテープ】 U70F 460円</p>
<p>【基材】綿・ポリウレタン織布(伸縮性) 【特長】重ねて巻いて押さえるだけでくっつく 留め具がいらない 自着性伸縮包帯</p>	<p>【基材】綿・ポリウレタン織布(伸縮性) 【特長】重ねて巻くだけで圧迫・固定ができる 留め具がいらない 自着性伸縮包帯</p>	<p>【基材】ポリウレタンフォーム 【特長】テーピング時の皮膚や体毛の保護 粘着剤不使用 *バトルウィン-アンダーラップテープは 自着性はなりません。静電気にくっつきます。</p>

しっかりと固定したい時に使えるテープ

<p>【ニチバン-《病院用》】 H12 970円(5巻入)</p>	<p>【スキナゲート-ガチット/スキナゲート-ガチットページュ】 各4,800円 SGG12 (24巻入) SGG50 (6巻入) SGG25 (12巻入) SGG75 (4巻入) SGG38 (8巻入) SGG100 (3巻入)</p>	<p>【メッシュポア】 各5,500円 No.38 (8巻入) No.50 (6巻入)</p>	<p>【スキナゲート-ビッグット】 各5,720円 SGP25 (12巻入) SGP50 (6巻入) SGP75 (4巻入)</p>	
<p>【テープバン】 T125 300円</p>	<p>価格タイプはございません。</p>		<p>【メッシュポア-テープ】 No.38F 500円(1巻入) No.50F 600円(1巻入)</p>	<p>価格タイプはございません。</p>
<p>【基材】綿織布 【特長】丈夫な布を使用 粘着力が強い</p>	<p>【基材】綿・ポリウレタン織布(伸縮性) 【特長】しっかりと貼れる 皮膚にやさしい</p> <p>価格タイプ あり</p>	<p>【基材】ポリエステル不織布 【特長】しなやかで柔らかい しっかりと貼れる</p> <p>価格タイプ あり</p>	<p>【基材】ポリウレタン不織布(伸縮性) 【特長】皮膚にやさしい 追従性が高い</p> <p>価格タイプ あり</p>	

優肌絆 各種の特徴について

こんな方にオススメ	テープ素材	透気性	自分やにくい	手できれいに切れる	平らな部分に貼りにくい	耐水性
優肌絆 TM EasyCut 	不織布	○	○	◎	◎	×
優肌絆 TM 不織布(緑) 		○	○	△	◎	
優肌絆 TM 不織布(白) 		○	×	△	◎	
優肌絆 TM スキンカラー 		○	◎	△	◎	
優肌絆 TM GS 		○	×	○	○	
優肌絆 TM プラスチック 	プラスチック	△	○	◎	△	 水は濡やこぼしても粘り力減りません。
優肌絆 TM アルファ 		△	△	○	○	

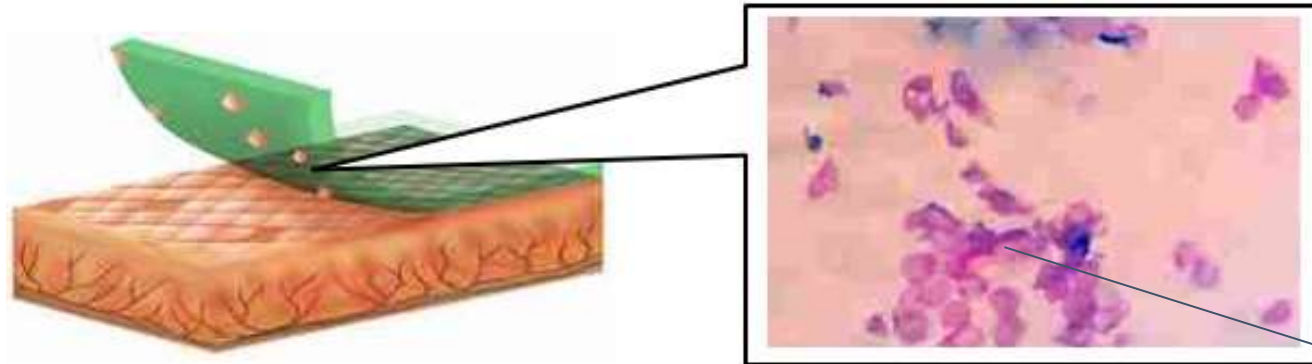
医療用テープ早見表

ハサミ不要！全てのテープが手で切れます



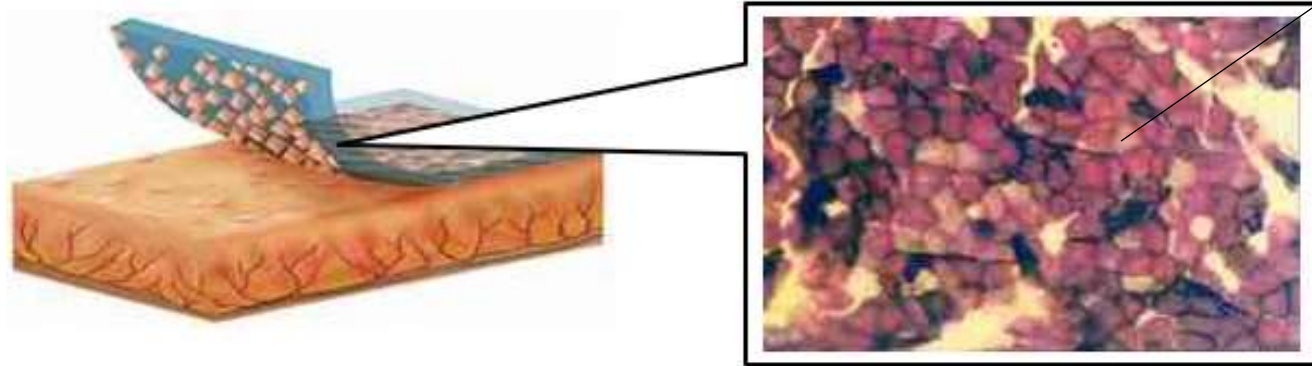
角質を守りかぶれを低減 … 優肌絆ジェル粘着剤

優肌絆



角質

従来品





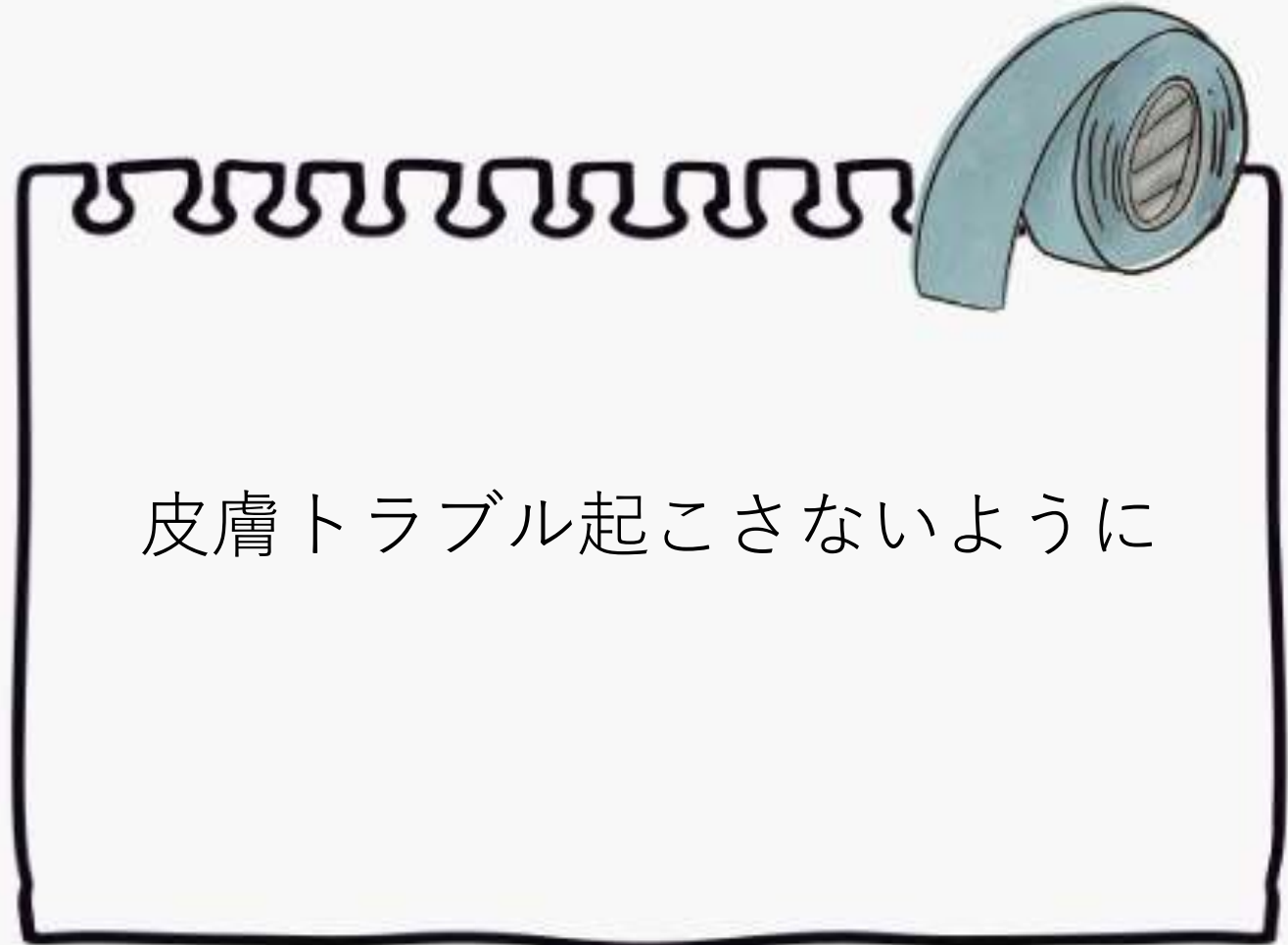
柔らかいトイレットペーパーに一般的なサージカルテープと優肌絆®を貼って剥がしてみた実験動画。優肌絆®は、薄くて柔らかいトイレットペーパーでさえ、ほとんど破れません。



一般的なサージカルテープだと、剥がす時に粘着面に新聞紙の表面がくっついてしまい、紙ごと破れてしまいます。一方、優肌絆®は印字面がくっつくだけで、新聞紙は破れていません。

テープの貼り方・剥がし方

チューブ・ドレーン管理はこの2つの両立が難しい





現場の課題



しっかり固定したいので、粘着力の強いテープで固定すると・・・
潰瘍ができてしまったり
剥離時に表皮剥離になってしまうことも



混合病棟も増えて・・・
テープ選択やケアの統一が増々難しい状況に

通常の固定

Ω 固定



脚

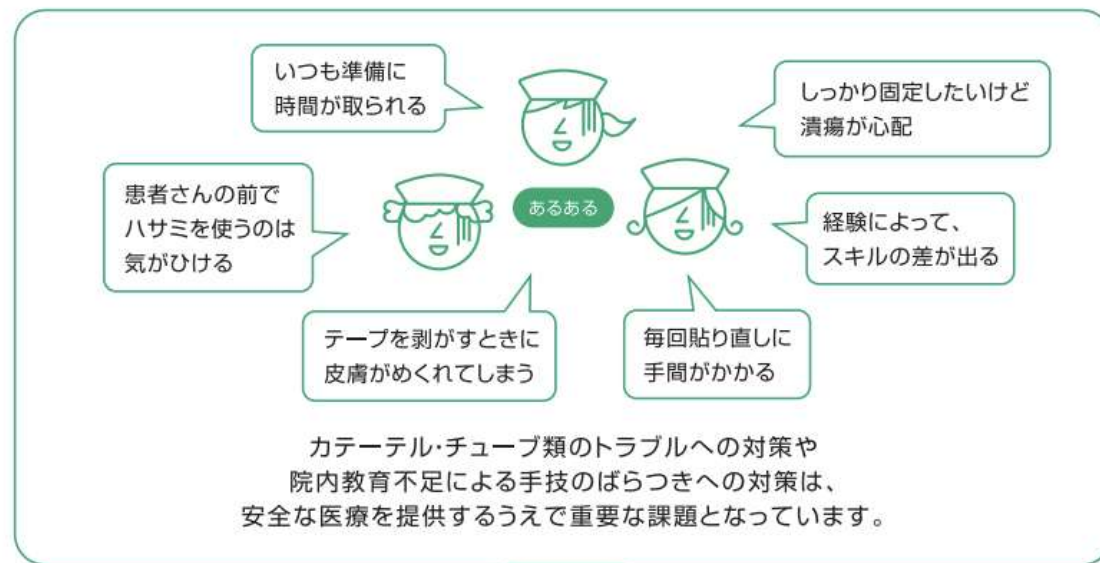


脚

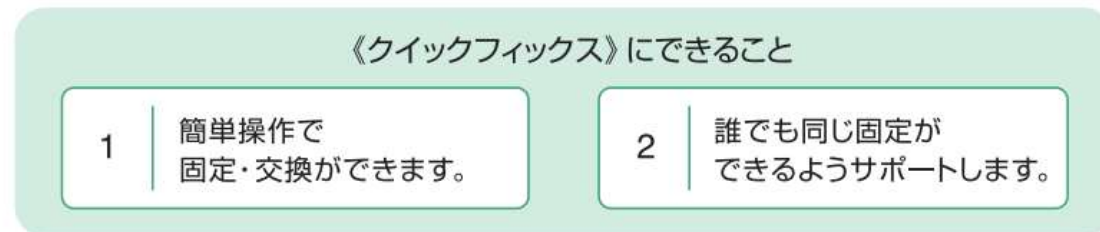
クイックフィックス®/クイックフィックス®・N Quickfix / Quickfix-N



経験を問わない、
スキルを問わない、
補助固定へのこだわりが
詰まったテープです。



カテーテル管理をサポートするための 考え抜かれたテープ構造

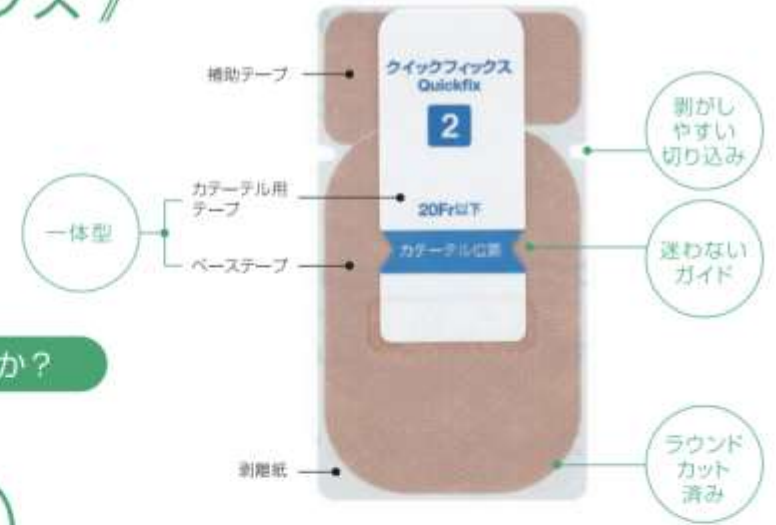


クイックフィックス®/クイックフィックス®・N
Quickfix/Quickfix-N

「あったらいいな」が形になりました

《クイックフィックス®》

カテーテル固定補助テープ



こんな経験ありませんか？

準備

あるある 1



テープを切って、
用意するのが手間

あるある 2



テープがグローブにくっついて
イライラする

箱から取り出してすぐに使える

プレカットだから、ハサミを使う準備や加工がいりません。
看護師さんの“手間”を省きます。

グローブをしたままでも
扱いやすい

操作しやすい剥離紙設計で、グローブをしたまま扱えます。



一回り大きい剥離紙で剥がしやすい。

私着面に触れずに貼付できます。

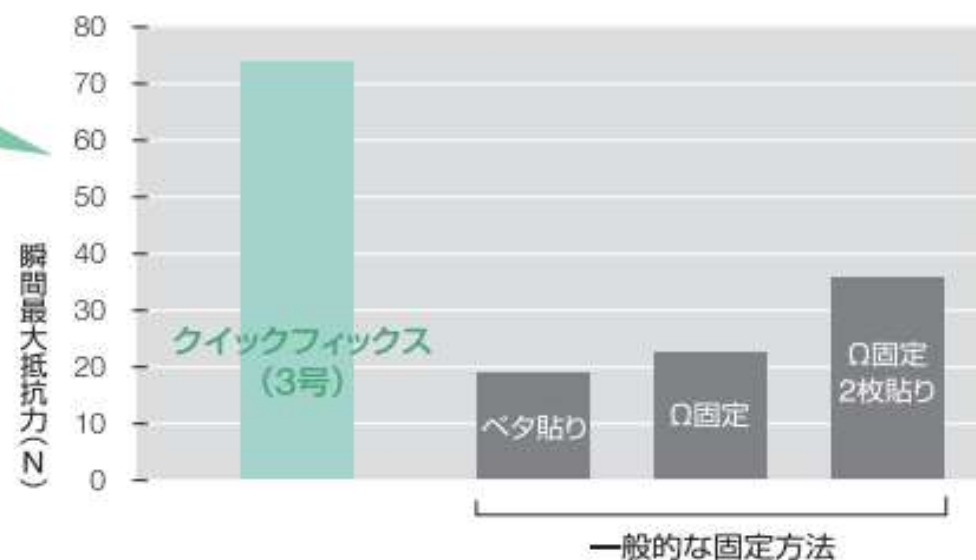
クイックフィックス®/クイックフィックス®・N
Quickfix/Quickfix-N

各固定方法の引き抜き強度比較

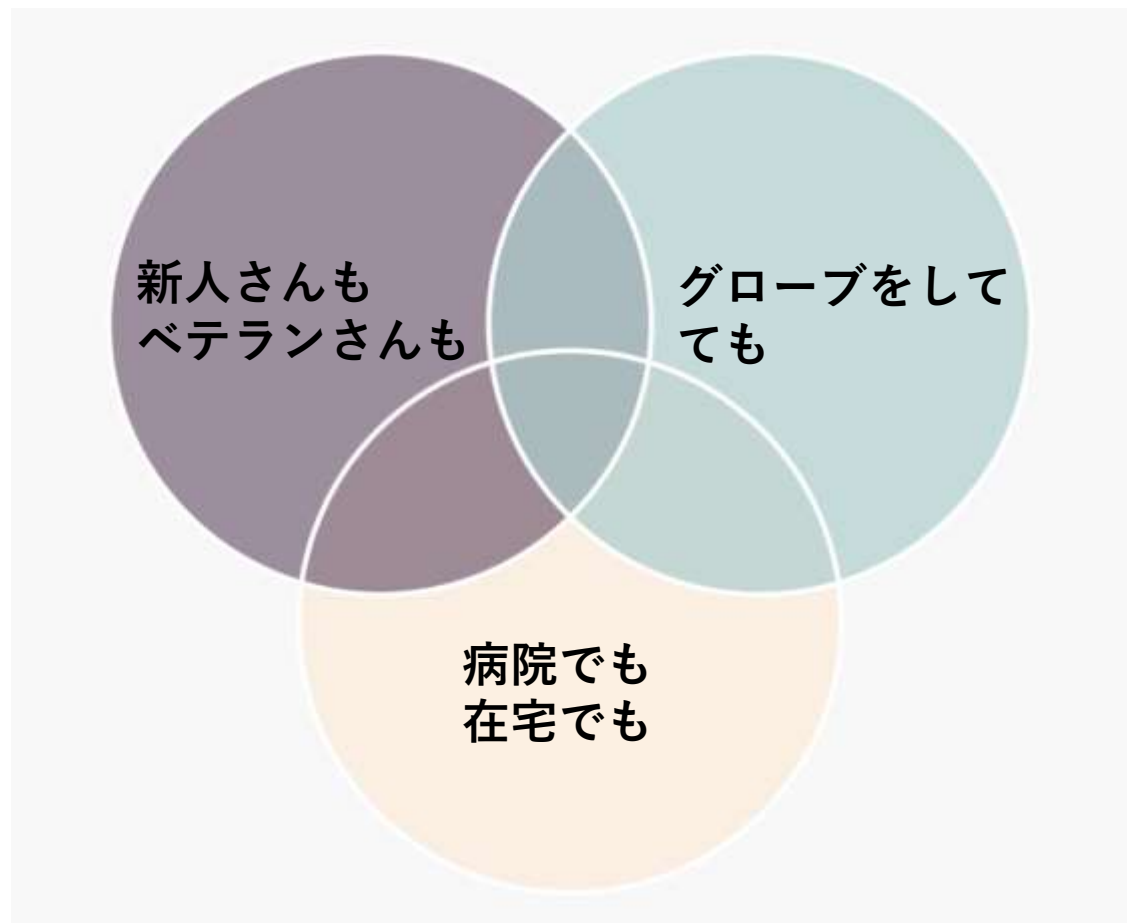


〈測定条件〉
当社規定の試験板に
試験片を貼付し、
5分後に24Frカテーテルを牽引
牽引速度：1,000 mm/min

〈貼付条件〉
対象試験片：シルキーテックス
試験片寸法：50 mm×100 mm
(Ω 固定2枚貼りの上部貼付部分は
50 mm×75 mm)



クイックフィックス®/クイックフィックス®・N
Quickfix / Quickfix-N



固定 あるある 3

ベタ貼り ×
Ω固定 ○
Ω風固定 ×

看護師さんによって
貼りがまちまち

簡単に「Ω固定」を標準化

ガイドに置いてぐるりと巻くだけ。しっかり固定しつつ、皮膚を圧迫しないΩ固定が誰にでも同じようにできます。



ガイドに置いて、ぐるりと巻くだけ

サイズに合ったカテーテルをカテーテル位置(くぼみ)に置きます。

カテーテルを包み込むようにぐるりと巻きます。

Point

カテーテル周囲に隙間ができないように、テープ同士を密着させます。

観察交換 あるある 4

位置調整
また、一から貼り直し~

貼り直しによる患者さんの皮膚への負担が心配

ベーステープはそのまま貼り直し可能な一体型

ベーステープはそのまま、カテーテル用テープのみ貼り直しが可能なため、皮膚トラブルが軽減できます。



テープなどの粘着製品による皮膚トラブルの原因と対策

テープなどの粘着製品を使用することで起こる皮膚トラブルには下記のようなものが考えられます。

- ✓発赤
- ✓水疱
- ✓痒み
- ✓痛み



皮膚トラブルが起こると、痛みなど患者さんの苦痛が増加します。それだけでなく、同じ位置にテープが貼れなくなり、カテーテルやドレーンの固定が困難になる場合もあります。そうすると、治療にも大きな影響が出るため、皮膚トラブルを防ぐことは重要です。

なぜ、テープによる皮膚トラブルが起こったのか
原因は何???



テープでの皮膚トラブルの原因とは

✓貼るとき

✓貼っている間

✓剥がすとき



シーン	原因	
貼る時	テープを引っ張って貼る	伸縮性のあるテープを伸ばした状態で貼ると、テープが縮む力で肌が引っ張られて、無理な負担がかかっている。
	以前貼って弱った肌にもう一度貼る	一度テープを剥がして角質剥離が発生、弱った肌にもう一度テープを貼ることで刺激を受けやすくなる。

シーン	原因	
貼っている間	テープと肌の相性が良くない	テープや絆創膏の粘着成分で、肌が炎症を起こし発赤や掻痒感がある。 (アレルギーの可能性もあり)
	テープの水分の透過性が低い	一般的なテープや絆創膏は水分透過性が低いため、長時間の貼付や蒸れで、皮膚が浸軟する。浸軟した皮膚は傷ができやすく、刺激も受けやすい。
	テープの伸縮性がない	テープの素材によっては伸縮性がないため、関節の曲げ伸ばしの際に関節付近の皮膚も引っ張られて、無理な負荷がかかる。

シーン	原因	
剥がす時	不適切な剥がし方をする	肌に対して垂直に剥がすなどの不適切な剥がし方で、肌が引っ張られて負担がかかる。
	テープの粘着剤が強い	テープを剥がす際に肌が引っ張られて、角質剥離が発生する。



トラブル対策 患者のリスクアセスメントを適切に行おう

患者の個体要因のアセスメントを行い、リスクの高い患者を予測する。

スキンテアの予防と管理のアルゴリズムにおける個体要因のリスクアセスメント表が参考になります。

個体要因のリスクアセスメント	
全身状態	皮膚状態
<ul style="list-style-type: none">・加齢（75歳以上）・治療（長期ステロイド薬使用、抗凝固薬使用）・低活動性・過度な日光暴露歴（屋外作業歴、レジャー歴）・抗がん薬、分子標的薬治療歴・放射線治療歴・透析治療歴・低栄養状態（脱水含む）・認知機能低下	<ul style="list-style-type: none">・乾燥、鱗屑・紫斑・浮腫・水疱・ティッシュペーパー様（皮膚が白くカサカサして薄い状態）

上記のうち、1つでも該当すれば、次の「外力発生要因のリスクアセスメント」に進む

外力発生要因のリスクアセスメント	
患者行動	管理状況
患者本人の行動によって摩擦・ずれが生じる場合	ケアによって摩擦・ずれが生じる場合
<ul style="list-style-type: none">・痙攣、不随意運動・不穩行動・物にぶつかる（ベッド欄、車いすなど）	<ul style="list-style-type: none">・体位変換・移動介助（車いす、ストレッチャーなど）・入浴・清拭等の清潔ケアの介助・更衣の介助・医療用テープの貼付・器具（抑制具、医療用リストバンドなど）の使用・リハビリテーションの実施

外力発生要因の該当項目数が1個以上該当するか？

はい：スキンテアの発生と再発の予防ケア実施

いいえ



トラブル対策

剥離剤や皮膜剤を上手く使いこなそう





スムーズリムーバー®
滴下ボトル



スムーズリムーバー®
ワイブシート



指に巻き付けて使用できる、大判サイズのシートです。剥離液をたっぷり含み、途中で乾くことなく最後まで使用できます。1枚で数カ所をケアすることも可能です。不織布のため適度に硬さ(コシ)があり、使用時のヨレがなくスムーズで効率的に操作できます。病院だけでなく在宅でも使用しやすい製品です。

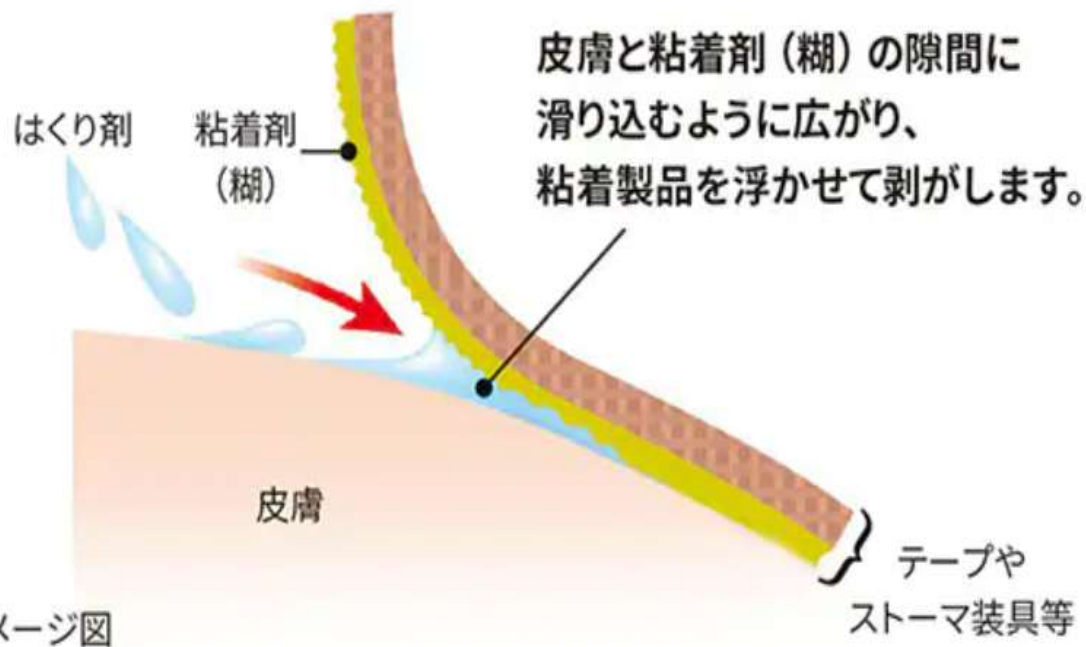


肌触りの良い大きめシートで、たっぷり4mlの剥離液を含んでいます。1回で数カ所のケアに使用しても、最後まで乾燥しにくいので落ち着いてケアが可能です。



ストーマの皮膚保護剤の粘着成分除去のほか、チューブ類に使用したテープなどにも使用可能。ケアをする人の指に巻いて細かい作業ができます。

3M™ キャビロン™ 皮膚用リムーバー



イメージ図

はくり剤のひみつ

●やさしくパラっと – “パラっと”素早く剥がれる

皮膚と粘着剤のわずかな隙間に入り、粘着剤を皮膚から浮かせて剥がします。

●はがしてサラっと – 剥がした後の洗浄が楽

べたつきが少なく、“サラっと”した使用感です。剥がした後の皮膚の洗浄が楽に行えます。

●低刺激 – デリケートなお肌に安心

非アルコール性のはくり剤で、低刺激です。アレルギーテスト済み。(すべての方にアレルギーがおきないというわけではありません)

リモイス®コート

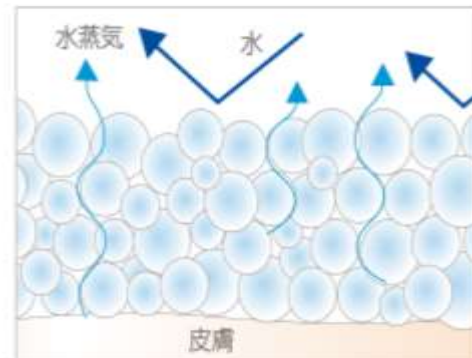
Remois Coat

ノンアルコール性保護膜形成剤



ムレやつっぱり感を軽減して保護

透湿性と撥水性を両立する微粒子構造で、保護膜によるムレ感やつっぱり感を軽減します。膜で覆われた感じがなく快適です。



肌に刺激が少なく、やさしく保護

皮膚への刺激が少ないノンアルコール性。速乾性でベタつかず、上からテープなどの貼付も可能。ダメージを受けやすい皮膚をやさしく保護します。

スプレー式で使いやすい

片手で簡単に使えるスプレー式で、皮膚に触れずに広い範囲にも塗布が可能です。また、透明ボトルで、残量の確認が容易です。

保湿をプラス

保湿成分配合によりダメージを受けやすい皮膚をしっとりなめらかに保ちます。

3M™ キャビロン™ 非アルコール性皮膜

透明な被膜を形成し
「粘着剤や剥離刺激」
皮膚を保護する

「排泄物からの科学的刺激」から

- ✓ 滅菌タイプがある
- ✓ 発赤の皮膚にも使える

噴霧してから **30秒** 待って
テープを貼ってね





3 M™ キャビロン™ 接着性耐久被膜剤（損傷皮膚・びらん用）

- 保護皮膜が皮膚組織に結合（接着）するため剥がれにくく、持続性に優れています。（塗りなおし目安：週に1~3回）
- 接着成分配合により、濡れた皮膚の上に皮膜が形成できるようになりました。従来の被膜剤で対応できなかった血液や滲出液がある皮膚への使用を実現しています。

本日の内容

- 粘着テープの構造
- 粘着剤の種類と特徴
- テープの支持体に応じた使い分け
- テープの正しい固定方法
- テープの正しい剥離方法
- 活用できるスキンケア用品
- テープトラブルの原因と対応

